

『富山発 スポーツの力で地域を変える』 特別講演会

講師

一般社団法人日本ハンドボールリーグ 初代代表理事

あしはら

かずまさ

葦原 一正氏

「アリーナスポーツの未来を語る

～目指すは世界最高峰リーグ～」



日時

令和3年3月28日(日)16時～

会場

富山銀行本店ホール 高岡市下関町3番1号

プロフィール

外資系戦略コンサルティング会社出身。スポーツビジネス界13年。

1977年東京都生まれ。早稲田大学大学院理工学研究科卒業。

2012年、新規参入した「横浜 DeNA ベイスターズ」に入社。社長室長として、主に事業戦略立案、プロモーション関連などを担当。

2015年、「公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ」入社。事務局長として男子プロバスケの新リーグ(B.LEAGUE)立ち上げに参画。ファンエンゲージメントを重要視し、「若者」と「女性」に向けたデジタルマーケティング戦略を用いることで、3年でリーグ売上10倍(50億円)、観客動員数50%増(250万人)に貢献した。

スポーツビジネスのあり方を変えたい、そしてプロスポーツを通じて社会貢献したいという熱い想いを込めた自身初の著書『稼ぐがすべて Bリーグこそ最強のビジネスモデルである』

(あさ出版)は、ビジネス書グランプリ2019 経済政治部門4位を受賞。

新著『日本のスポーツビジネスが世界に通用しない本当の理由』(光文社)

主催：一般社団法人 富山ドリームス

共催：プレステージ・インターナショナルアランマーレ(日本ハンドボールリーグ所属)